

2018年度

龍谷大学里山学研究センター研究会

# ＜景観を楽しむ、地域を作る＞フットパス ーフットパスづくりの経験を踏まえてー

龍谷大学里山学研究センターでは2013年に、フットパスがこれまでとはひと味違った地域づくりのツールとして用いられていることに着目し、イギリスでフットパスを使った地域おこしを目指す活動を活発に行っている団体「Walkers Are Welcome(WAW)」の役員をされていたS. タルボットさんと、日本におけるフットパス運動を牽引してこられた神谷由紀子さん(日本フットパス協会理事)をお招きして研究会を開催しました。

その後もフットパスの動きには注目してきましたが、このたび龍谷大学学生グループ「みらいの環境を支える龍谷プロジェクト(以下、みらプロ)」の皆さんが昨年度から取り組んでいた東近江市のフットパスについて最初のルートマップを発行されました。そこで「みらプロ」の皆さんに東近江市でのフットパスづくりの取り組みの概要と、取り組みの過程で感じたフットパスの可能性や課題等についてお話していただくとともに、日本におけるフットパスの源流、江戸時代の「遊山」に関する江南氏の報告、およびフットパスの故国、イギリスにおける自然アクセス制度の近年の展開とWAWの活動状況についての鈴木氏の報告を合わせ、日本におけるフットパスの意義と可能性について幅広い観点から検討すべく、研究会を企画しました。

日時： 2018年 8月5日(日) 13:30～17:00

場所： 龍谷大学深草学舎 紫英館(6号館)2階 東第2会議室

報告：「学生が取り組むフットパスの可能性

ー東近江市における実験を踏まえて」

みらいの環境を支える龍谷プロジェクト有志

牛尾洋也氏 (龍谷大学里山学研究センター センター長)

「英国に先立つ100年前に始まる江戸時代庶民が楽しんだ「パグリックフットパス」の源流 ー「都名所図会」, 「拾遺都名所図会」, 「都林泉名勝図会」, 「江戸名所図会」に溢れる庶民の遊山(=パブリックフットパス)の楽しみ」

江南和幸氏(龍谷大学里山学研究センター フェロー研究員)

「イギリスにおける自然アクセス制度の新展開とWAWの取り組み」

鈴木龍也氏(龍谷大学里山学研究センター 研究員)



The Research Center for  
Satoyama Studies

ー 龍谷大学里山学研究センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

TEL: 075-645-2184

FAX: 075-645-2240

E-mail: satoyamagaku@ad.ryukoku.ac.jp